

A decorative border with floral motifs in the corners and thin lines connecting them, framing the central text.

令和6年第1回富谷市議会定例会

施政方針

令和6年2月20日

富谷市長 若生 裕俊

～『住みたくなるまち日本一』を目指して～

## 1. はじめに

本日ここに、令和6年第1回富谷市議会定例会が開会されるにあたり、新年度・令和6年度に実施する各種施策の概要について、ご説明申し上げます。

議会の皆様には、日ごろより市勢発展のため、ご尽力いただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

はじめに、能登半島地震について申し上げます。

令和6年1月1日16時10分ごろ、石川県能登地方を震源地とする最大震度7、マグニチュード7.6の大地震が発生しました。

この能登半島地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災されたすべての方々に、心からお見舞いを申し上げます。

多くの住宅が倒壊し、道路、水道などのライフラインが甚大な被害を受ける中、被災者の皆様は、日々不安のなか過ごされ、また不自由な生活を余儀なくされていることと思います。一日も早い復旧・復興をお祈りするとともに、懸命に復旧活動にあたられている皆様に心から敬意を表します。

本市では、地震発生直後より、被災地の情報収集や関係機関等との調整を行いながら、支援ニーズの把握に努め、支援を行ってまいりました。

1月6日には、東日本大震災の際に給水支援をいただいた、富山県氷見市に対して、災害支援物資として飲料水500ミリリットルペットボトル1,080本、2リットルペットボトル42本を発送するとともに、全国知事会からの要請に基づき、1月10日には段ボールベッド50台を石川県へ発送いたしました。

また、公益社団法人日本水道協会宮城県支部からの要請に基づき、1月29日から2月2日までの間、石川県珠洲市へ給水車1台と職員2名を派遣し給水活動を行いました。

併せて、この地震による被災地の方々の生活を支援するため、公営住宅2棟を無償で提供するとともに、1月9日より本庁総合窓口及び長寿福祉課窓口、各出張所等の市内9施設に募金箱を設置し、義援金を受け付けております。引き続き、皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

令和6年が幕を開けてから、まもなく2か月が経過いたします。

新年度におきましても、本市を取り巻く社会経済情勢をしっかりと見定めながら、総合計画後期基本計画のもと、富谷市の発展と市民の福祉の向上のため、適時的確な政策判断と、選択と集中により、引き続き「住みたくなるまち日本一」の実現を目指して、各種施策に取り組んでまいります。議会の皆様、そして市民の皆様には、引き続き、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

次に、エネルギー・食料品価格等の物価高騰への市の取組について申し上げます。

本市独自の施策として、6歳までの未就学児童及び16歳から18歳までの高校生相当の子どもの保護者を対象に、子ども一人あたり1万円を支給する「富谷市子育て世帯物価高騰対策緊急支援給付金」については、2月9日時点で、2,013世帯2,614名の未就学児童の保護者に対して、給付が完了しております。また、高校生相当の子どもの保護者に対しては、2月28日から順次振り込みを行ってまいります。

同じく本市独自の施策である、障害者手帳所持者を対象に、一人あたり1万円を支給する「富谷市障害者手帳所持者物価高騰対策支援給付金」については、1月末で受付が終了し、2月16日現在で1,766件を支給いたしました。

また、令和5年度住民税均等割のみ課税世帯に対し、1世帯あたり10万円を支給する「住民税均等割のみ課税世帯物価高騰対策支援事業」並びに、令和5年度住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯への給付の加算として、当該世帯において扶養されている18歳以下の児童一人あたり5万円を支給する、こども加算については、5月中旬頃から支給できるよう順次準備を進めてまいります。

併せて、新たに令和6年度住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯に対し、1世帯あたり10万円を支給する事業についても、9月中旬頃から支給できるよう順次準備を進めてまいります。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

「とみや3割増商品券」については、生活者支援及び消費の下支えとして昨年販売し、今年の1月31日まで、市内参加店において多くの皆様にご利用いた

できました。

今なお、燃料代や食料品など、あらゆる物の価格が高騰しておりますので、引き続き、国や県の施策等を注視しながら、家計への負担緩和と地域経済の活性化等につながる支援策について取り組んでまいります。

次に、総合病院誘致については、令和5年12月議会定例会において、病院用地の取得の関連議案についてご可決いただいたことから、現在、土地売買契約締結の手続きを進めております。

それでは、新年度に実施する施策の概要について、ご説明を申し上げます。

はじめに、令和6年度当初予算案の概要について申し上げます。

まず、予算編成については、新規・拡充事業の選択と集中を進めるとともに、債務負担行為の早期設定に基づく実契約ベースでの予算要求や、公共工事発注の平準化と事業効果の早期発現を図るため、今年度2月補正予算と新年度当初予算との連動・連携を図りながら、市総合計画に掲げる市の将来像の実現に向け、予算を編成したところです。

その結果、令和6年度一般会計当初予算案は、総額185億8,900万円、対前年度比30億4,400万円、19.6パーセント増と、5年連続で過去最高額を更新する規模となっております。

歳出の主な増加要因としては、市民の皆様と共に計画を作り上げてきた図書館等複合施設の整備や、東向陽台小学校放課後児童クラブの建替え、成田二期北工業用地造成を見据えた埋蔵文化財発掘受託事業、国が進める自治体標準化システム移行業務などの大型事業が挙げられます。また、昨今のエネルギー・物価高騰や労務単価の上昇の影響により、光熱水費や委託料など、多くの費目で増額となり、事業費全体を押し上げているほか、高齢者や障がい者、子どもを支援するための社会保障関連経費が引き続き増加しております。

一方、歳入では、市民税や固定資産税の増により、市税全体で64億3,900万円、対前年度比2億5,300万円の増を見込んでおります。そのほか国・県支出金やふるさと納税寄附金の積極的な活用と、財政調整基金等からの繰入れ、更には交付税措置のある有利な起債による財源確保に取り組み、将来負担の増加につながらないように計画的な予算編成を実施いたしました。

なお、2月補正予算との連動・連携では、国の予備費により増額された物価高

騰対応重点支援地方創生臨時交付金の交付限度額の提示を受け、低所得者世帯に対する追加支援策を講じるとともに、国の令和 5 年度補正予算で措置された交付金を活用し、成田二期北工業用地へのアクセス道路となる七北田西成田線の整備に加え、石積線や明石石積線の舗装修繕に係る所要額を計上しております。また、富谷中学校西成田教室に係る西成田コミュニティセンターの増築や、新たに実施する帯状疱疹予防接種助成事業を盛り込むとともに、新年度に予定していた町内会館や保育所、小中学校等の施設修繕の一部を前倒しし、計上しておりますので、併せてご審議の程、よろしくお願いたします。

## 2. 「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」について

それでは、富谷市総合計画の4つの基本方針と後期基本計画の体系に基づき、各種施策の実施状況について申し上げます。

まず、「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」に関する主な施策について申し上げます。

### (1) 商工業・雇用関連施策について

はじめに、商工業・雇用関連施策について申し上げます。

企業誘致関連については、1月16日に、日揮ホールディングス株式会社のグループ企業・日本ファインセラミックス株式会社において、高屋敷西地区に建設する新工場の地鎮祭が執り行われました。新工場は、第5工場及び第6工場からなり、建築面積は2棟合わせて約1.1ヘクタールで、操業開始は令和7年度内が予定されております。

新工場では、電気自動車等で使用されるパワー半導体用のセラミックス基板が生産されることとなっており、新たな雇用の創出はもとより、ゼロカーボン社会の実現に向けた今後の事業展開も期待されるところです。本市といたしましても、引き続き、万全の体制で支援してまいります。

成田二期北工業用地については、これまでのオーダーメイド方式を転換し、地権者と連携しながら、先行して造成に取り組むことといたしました。約200ヘクタールとなる面積は、県内はもとより国内でも大規模な工業用地であることから、この度の半導体受託生産大手PSMCの大衡村進出決定などを好機と捉え、半導体関連産業などを中心に、県と連携しながら、私自身もトップセールスで企業誘致に取り組んでまいります。

## (2) 起業支援関連施策について

次に、起業支援関連施策について申し上げます。

起業塾「富谷塾」については現在6期目となり、「出会いと学び合い」をテーマに、190人以上の塾生が対話を通しながら、起業創業に向けて定例会や実践的なプログラムに取り組んでまいりました。

また、今年度より加入いたしましたスタートアップ都市推進協議会主催のビジネスマッチングイベントである「ジャパンスターアップセレクション」への参加や、経済産業省のアメリカ・シリコンバレーへの海外派遣事業を通して、ビジネス知識や海外展開の基礎的なノウハウの習得、グローバルマインドの醸成など、これまで以上に貴重な経験を得ているところです。

こうした取組を通して多くの塾生を支援してまいりましたが、今年度は8人が起業し、開塾してから起業した塾生の累計は58人となりました。今年度も着実に成果をあげております。

新年度に富谷塾は第7期を迎えますが、これまで培ったノウハウを生かしながら、充実した起業創業のプログラムを展開するとともに、塾生のさまざまな想いを実現できるよう、引き続き、活動を支援してまいります。

また、宮城大学と連携して取り組んだ、若者、とりわけ学生のアントレプレナーシップの育成や起業マインドの醸成については、新年度においてもその裾野を広げるべく継続するなど、今後もとみづらと荷宿を拠点に、起業創業・スタートアップの更なる強化につながるよう取り組んでまいります。

## (3) 農業関連施策について

次に農業関連施策について申し上げます。

米づくりの取組については、米の消費の減少に加え、米価の低迷、さらには資材や原油高騰の影響を受けており、新年度における生産の目安については、昨年度と同様に、作付面積が5割を下回る見込みで、依然として厳しい状況となっております。

このような状況を踏まえ、本市では、市独自の上乗せ助成を継続し、新みやぎ農業協同組合や生産者と連携を図りながら、農業経営の安定化に取り組むとともに、安全・安心な米づくりとブランド米への作付拡大を推進してまいります。

本市の特産品の一つであるブルーベリーの生産については、生産者の高齢化や近年の収穫量の減少などにより、生産組合においては厳しい状況が続いてお

りますことから、引き続き、生産組合の運営を支援しながら、生産の拡大に努めてまいります。

とみやはちみつプロジェクト推進事業については、昨年、「第6回ハニー・オブ・ザ・イヤー」において、「日本ミツバチ部門」で日本一となる最優秀賞を受賞し、また、「国産部門」で優秀賞を受賞するなど非常に高い評価を受けることができました。引き続き、本市の豊かな自然環境と富谷産はちみつを全国に発信するため、本プロジェクトを推進してまいります。

富谷茶については、新年度に2,000本の苗木の定植を行うこととしております。また、昨年9月、後世へつなぐ貴重な食として「味の箱船」に登録されたことから、富谷茶の更なる周知・PRに取り組むとともに、商品化に必要な安定した生産量の確保と併せ、生産者や関係者、地域商社と連携を図りながら、商品化に向けた取組についても推進してまいります。

農業用施設及び農地の保全・管理については、本市独自の支援事業となる農業環境整備事業補助金により、農地や農業用施設の整備及び補修等への支援を行うとともに、県の補助金を活用した農業用水路や農業用堰の改修を実施してまいります。

有害獣であるイノシシの対策については、物理柵の設置を進め、新年度は今泉地区、大童地区の2地区で、合計7キロメートルを設置し、既に設置している物理柵の維持管理経費については、引き続き支援を行ってまいります。併せて、農地への侵入防止対策として、電気柵等の設置に対する補助金を拡充し、被害防止対策支援の充実を図ってまいります。

また、捕獲対策については、新年度から鳥獣被害対策実施隊員として1名が入隊する予定となっており、総勢15名の体制で捕獲駆除等を強化しながら、農作物への被害防止に努めてまいります。

#### (4) 観光・地域振興関連施策について

次に、観光・地域振興関連施策について申し上げます。

富谷宿観光交流ステーション・とみやどについては、昨年末で来場者数が46万人を超え、県内外から多くの皆様にご来場いただき、とみやどの魅力を楽しんでいただいております。新年度もテナントと連携しながら季節のイベントを催すなど、本市の観光交流の拠点として賑わいを創出してまいります。

なお、本年4月1日から2年間、とみやどの管理運営を行う指定管理者の指

定に関する議案について、本定例会へ提出しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

「スイーツのまち」によるシティブランドの確立については、これまでの「とみやブルーベリースイーツフェア」及びシャインマスカットやはちみつ等を使用した「秋のとみやスイーツフェア」を引き続き開催するとともに、生産者やスイーツ店等と連携を図りながら、「スイーツのまち・とみや」のブランディング向上に取り組んでまいります。

#### (5) 公共交通関連施策について

次に、公共交通関連施策について申し上げます。

新公共交通システム推進事業については、富谷市都市・地域総合交通戦略（基本計画）に掲げる、仙台市泉中央駅との基幹公共交通の整備に向けた検討など、各種施策の展開を進めるとともに、特に新年度におきましては、本市が目指す交通の将来像の実現に向けて、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく「富谷市地域公共交通計画」を策定し、将来の公共交通ネットワーク構築のための積極的な取組を推進してまいります。

「やすらぎパークとみや」への公共交通の確保については、令和6年4月下旬のパークゴルフ場のオープンに合わせて、市民バスを活用した送迎バスが運行できるよう調整を進めております。

#### (6) 道路関連施策について

次に、道路関連施策について申し上げます。

市道穀田線の歩道未設置区間の整備については、新年度より国の交付金を有効に活用しながら、工事に着手してまいります。また、市道幹線道路舗装修繕事業についても、国の交付金を継続して活用し、事業を推進してまいります。

側溝有蓋化事業については、富ヶ丘及び鷹乃杜地区の整備を継続して推進するとともに、新年度より、あけの平地区の整備に着手してまいります。

橋梁維持管理事業については、国の補助制度を継続して活用し、長寿命化修繕計画に基づく法定点検を実施するとともに、新年度より、新富谷大橋の修繕に着手してまいります。



#### (7) 土地利用関連施策について

次に、土地利用関連施策について申し上げます。

本市の将来像の確立に向けて、都市計画の方針を定める「都市計画マスタープラン」の策定については、各地区でのワークショップのご意見を反映し、説明会及び縦覧を行い、2月9日に富谷市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定検討委員会を開催いたしました。3月中の公表に向け、引き続き、策定作業を進めてまいります。

仙塩広域都市計画第8回定期見直しについては、5月の都市計画変更告示に向け、引き続き、手続きを進めてまいります。

また、宮城県が掲げる「富県宮城のものづくり」に資する事業として、成田二期北土地地区画整理事業の推進を図るため、工業用地整備に必要な都市計画道路七北田西成田線の一部について、国の交付金を活用し整備してまいります。

なお、当該業務については、宮城県への委託により工事を進めることとしております。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしく申し上げます。

#### (8) 住宅・公園・上下水道関連施策について

次に、住宅・公園・上下水道関連施策について申し上げます。

昨年12月に開所いたしました市営墓地については、芝生墓地において募集数に対し応募数が上回り、抽選に漏れた方もいらっしゃったことから、新年度早々に2期工事に入るための工事費用を新年度当初予算に計上しておりますので、ご審議の程、よろしく願います。

大亀山森林公園の整備促進については、更なる魅力向上を目指し、宮城大学のご協力をいただきながら「森の公園ツリーハウスプロジェクト」を推進しております。ツリーハウスの製作にあたっては、NPO法人SCRが主体となり、親子20組との製作ワークショップを継続的に開催しております。公園の新たなシンボルとなるツリーハウスは、3月中の完成を目指し取り組んでまいります。

水道事業については、鉛管の解消と併せ配水管の耐震化工事について、引き続き取り組むとともに、本市で最も古い配水池である館山配水池の設備更新設計を実施いたします。

今後とも、水道施設の更新及び耐震化を図り、安全で安心な水の安定供給に努めてまいります。

下水道事業については、国の交付金を活用し、引き続き老朽化した施設の改築更新に取り組み、施設の適切な維持管理を図ることにより、安定的な下水道サービスの提供に努めてまいります。

#### (9) 自然環境・公園緑地関連施策について

次に、自然環境・公園緑地関連施策について申し上げます。

河川維持管理事業については、国の緊急浚渫(しゅんせつ)推進事業債を、引き続き活用しながら、準用河川の堆積土砂の撤去を行い、水害を未然に防止する取組を実施してまいります。

### 3. 「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」について

続きまして、「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」に関する主な施策について申し上げます。

#### (1) 教育・青少年健全育成関連施策について

はじめに、教育・青少年健全育成関連施策について申し上げます。

本市の教育施策については、新年度においても引き続き、第2期富谷市教育振興基本計画に基づき、総合的かつ計画的な推進体制を構築し、実効性の高い教育施策を推進してまいります。

幼稚園、小・中学校においては、冬休み前にインフルエンザ感染が流行したため、学級閉鎖等の感染拡大防止対策を講じてまいりました。冬休み明けには、感染状況も落ち着き、無事に新学期をスタートしたところですが、1月後半から、新型コロナウイルスやインフルエンザ感染の流行の兆しが、再度出てきているため、これまで以上に、子どもたちが、安全安心で快適な園生活・学校生活を送れるよう、万全な感染拡大防止対策に努めてまいります。

次に、1月5日に、小・中学校すべての教職員を対象とした教育フォーラムを

開催し、日本ユニセフ協会による子どもの権利を理解するための実践的な研修を行いました。子どもの権利が守られた学校づくりを進めながら、子どもにやさしいまちづくりの実践をさらに深めてまいります。

次に、第12回を迎えた図書館を使った調べる学習コンクールでは、応募のあった1,606作品の中から優秀な25作品を全国審査へ出品し、そのうち、優良賞6名、奨励賞10名というすばらしい結果となりました。また、広報とみや2月号では、当コンクールの市長賞受賞作品を特集記事に掲載するなど、新たな取組も行いました。

今後も引き続き、子どもの主体的かつ探究的な学習の充実を図るとともに、子どもたちの多様な意見や提案を各種政策に生かしてまいります。

## (2) 教育・国際交流関連施策について

次に、教育・国際交流関連施策について申し上げます。

教育施設については、子どもたちの安全安心な教育環境の整備のため、防犯対策や特別教室へのエアコン設置など、計画的な改修、更新に取り組んでまいります。

## (3) 生涯学習関連施策について

次に、生涯学習関連施策について申し上げます。

富谷市民図書館等複合施設については、2月12日に今年度3回目となる市民ワークショップを開催いたしました。これまでに市民の皆様からいただいたご意見を反映させながら、実施設計図書の作成及び管理運営の検討を進めてまいりました。新年度には建築工事の着工を予定しており、引き続き、令和7年度の開館を目指して整備を鋭意進めてまいります。

また、子育て親子の交流の場や居場所づくりとして開放しております、公民館のプレイルームについては、新年度から開放日を週5日、利用時間を午前9時から午後5時までに拡充して、子どもにやさしいまちづくり事業及び家庭支援事業の推進を図ってまいります。

## (4) スポーツ・レクリエーション関連施策について

次に、スポーツ・レクリエーション関連施策について申し上げます。

現在、整備を進めておりますパークゴルフ場については、芝の養生も順調に進

んでいるところです。初心者から上級者まで楽しめるコースとなっており、4月20日にオープンを予定しております。

当日は、市営墓地との複合施設である「やすらぎパークとみや」のオープン記念として、式典や市長杯パークゴルフ大会を開催いたします。今後もオープンに向けた準備を鋭意進めてまいります。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

次に、令和5年度富谷市スポーツ功労者表彰式については、3月23日に開催を予定しております。本市のスポーツ振興に著しく寄与した皆様及びスポーツで優秀な成績を収めた皆様に対し、これまでのご尽力とご功績を称え表彰いたします。議員の皆様をはじめ、ご来賓の皆様と共に、功労者の方々をお祝い申し上げたいと存じます。

#### (5) 芸術・文化関連施策について

次に、芸術・文化関連施策について申し上げます。

民俗ギャラリーでは3月24日まで、企画展として「昭和レトロ展」を開催し、昭和時代の懐かしいテレビや黒電話などを展示しております。富谷市民と小中学生は入館無料ですので、ぜひ足を運んでいただければと思います。今後も継続的な歴史文化関連の取組を進めてまいります。

次に、文化財保護事業について申し上げます。

新年度より約1年かけて、成田二期北工業団地の造成工事前に、開発区域内の埋蔵文化財の発掘調査を行う予定となっておりますので、宮城県及び関係機関と調整を図りながら調査を進めてまいります。

#### (6) 子育て支援関連施策について

次に、子育て支援関連施策について申し上げます。

「富谷市第二期子ども・子育て支援事業計画」は、令和6年度で計画期間が終了することから、本市の現状を踏まえ、「富谷市第三期子ども・子育て支援事業計画」の策定に向け取り組んでまいります。社会全体で子育て世代を支え、妊娠、出産、子育てまでの切れ目ない支援を継続するとともに、子どもにやさしいまちづくりを進めてまいります。

放課後児童健全育成事業については、東向陽台小学校放課後児童クラブ新築工事の新年度内の完成を目指し、取り組んでまいります。

保育環境の整備については、児童の安全、安心を確保するため、全市立保育所及び放課後児童クラブへの防犯カメラの設置を進めてまいります。

産後の育児不安や心身の疲れを解消する「産後ケア事業」については、助産師が訪問にてケアを行う「アウトリーチ型」サービスを新年度より開始できるよう準備を進めているところです。

また、就学前の子どもの発達の確認や育児に関する不安や悩みを相談へつなげられるよう、チェックリストを活用した（仮称）5歳児発達チェック事業の実施に向けて準備を進めております。

#### 4. 「基本方針－3 元気で温かい心で支えるまち」について

続きまして、「基本方針－3 元気で温かい心で支えるまち」に関する主な施策について申し上げます。

##### （1）高齢者支援関連施策について

はじめに、高齢者支援関連施策について申し上げます。

高齢者保健福祉施策の指針となります「高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」が、このほど、介護保険運営委員会の審議を経てまとまり、新年度より令和8年度までの3か年の計画がスタートいたします。

65歳以上の第1号被保険者の増加に伴う要介護認定者の増加などにより、事業費は第8期に比べ11パーセント程度上昇するものと見込んでおり、保険料基準額については、月額6,109円、前期比で6パーセントの上昇と算定されたところですが、介護給付費準備基金を一部繰り入れし、第8期と同額の月額5,750円とすることといたしました。

つきましては、本定例会に、条例改正案を提出しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

なお、敬老祝い事業については、先の議員全員協議会でご説明いたしました通り、補助内容等の一部変更を予定しております。本定例会の新年度当初予算へ計上しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

## (2) 健康・保健関連施策について

次に、健康・保健関連施策について申し上げます。

带状疱疹の発症を予防することで、市民の皆様の心身の健康を維持するため、今年3月から、带状疱疹ワクチン予防接種費用の一部助成を予定しております。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

また、若年のがん患者の方が、住み慣れた場所で安心して自分らしい生活を送ることができるよう、新年度から40歳未満のがん患者に対する在宅福祉サービス等費用の一部助成を予定しております。

新型コロナワクチン接種については、特例臨時接種が今年3月31日で終了となり、新年度においては、対象者を限定した定期接種として、秋冬に実施することとなります。詳細が決まり次第、関連経費について新年度の補正予算に計上させていただきます。予定としております。

## (3) 医療関連施策について

次に、医療関連施策について申し上げます。

国民健康保険については、マイナンバーカード保険証利用の本格運用に伴い、今年12月に健康保険証が廃止となることから、被保険者が混乱を来すことのないよう、丁寧な対応に努めてまいります。

## (4) 障がい者支援関連施策について

次に、障がい者支援関連施策について申し上げます。

精神障がいの有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加、地域の助け合い、普及啓発などを包括的に確保する環境整備として「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築」の推進に一層努めてまいります。

## 5. 「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」について

続きまして、「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」に関する主な施策について申し上げます。

### (1) 防災・救急・消防関連施策について

はじめに、防災・救急・消防関連施策について申し上げます。

消防関連事業については、富谷市消防団の設備充実を図るため、富谷市石油貯蔵施設立地対策等交付金基金を創設し、積み立てを行ってまいりましたが、新年度に消防ポンプ車を購入し、富谷市消防団のより一層の設備充実を図ってまいります。

つきましては、新年度当初予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

### (2) 防犯・交通安全・消費生活関連施策について

次に、防犯・交通安全・消費生活関連施策について申し上げます。

交通安全関連については、道路交通法の改正により、自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化され、ヘルメット着用の重要性も高まっていることから、自転車用ヘルメット購入時の助成制度を開始いたします。

つきましては、新年度当初予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

また、各中学校区に防犯カメラの増設工事を継続して進めておりますが、新年度においても、引き続き各中学校区に防犯カメラ1台ずつ計5台の増設を行い、より安全安心な地域づくりに取り組んでまいります。

道路交通安全施設整備事業については、国の補助制度を有効に活用しながら、太子堂地区などの通学路や生活道路の安全対策を図ってまいります。

### (3) 人権尊重・男女共同関連施策について

次に、人権尊重・男女共同関連施策について申し上げます。

本市では男女共同参画社会の実現を図るため、意思決定過程への女性の参画促進に積極的に取り組んでおり、様々な分野における女性の参画が確実に進んでおります。国の算定基準における本市の審議会等委員への女性登用率は、昨年度、2年連続で全国市区町村第1位となる55.7パーセントでしたが、令和5年4月1日現在においては、昨年度を上回る57.3パーセントとなり、引き続き高い水準となっております。

今後も全庁挙げて審議会等委員などの女性登用を推進するとともに、男女共

同参画に対する理解促進を図る事業等も実施しながら、男女共同参画社会の実現に努めてまいります。

#### (4) 環境衛生関連施策について

次に、環境衛生関連施策について申し上げます。

平成 17 年に埋め立てを完了している富谷桜田地区の本市最終処分場ですが、現在は安定した状況を保ってはいるものの、全国各地で集中豪雨が頻発しているなど、昨今の気象状況を鑑み、必要な処理を行ったうえで廃止できるよう、実施設計費用を当初予算に計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

#### (5) 省エネルギー・再生可能エネルギー関連施策について

次に、省エネルギー・再生可能エネルギー関連施策について申し上げます。

2050 年までの脱炭素化を見据え、再生可能エネルギーなどの導入可能性分析や市民の皆様への啓発活動を実施し、富谷市地球温暖化対策実行計画の策定業務を進めてまいりました。

また、当該計画の推進にあたり、1 月 10 日、宮城大学の小沢晴司教授を講師に「脱炭素を推進する自治体職員への期待」と題した職員向け研修会を宮城県と共催で開催し、富谷市地球温暖化対策実行計画に対する理解度を深めたところ です。

新年度においては、当該計画に沿ったゼロカーボンの各施策を推進するとともに、市民啓発についても継続的に取組を進めてまいります。

平成 29 年度から開始した環境省低炭素水素技術実証事業については、5 年間の実証期間に加え、環境省の補助事業を 2 年間活用してまいりました。

新年度においては、これまでの水素サプライチェーン実証事業の総括的な検証を行いながら、社会実装に向けた取組を進めてまいります。

#### (6) 市民参加・協働関連施策について

次に、市民参加・協働関連施策について申し上げます。

私が就任以来、市民の声が届く市政とするため実施してまいりました、「とみやわくわくミーティング」、「とみやわくわく子どもミーティング」については、多くの市民の皆様にご参加いただいているところです。



今後も市民と市が思いを分かち合いながら、市民の声をまちづくりに生かせるよう、引き続き新年度も開催してまいります。

市民協働の推進については、市民の公益的な活動への支援の充実を図るため、わくわくミーティングや市民活動交流会などでいただいた市民の皆様からのご意見も踏まえながら、富谷市協働のまちづくり推進審議会で検討いただいているところであり、新年度上旬を目途に具体的な支援について取りまとめてまいります。

地域コミュニティの中核である町内会活動の活性化を支援するため、新年度も「富谷市町内会交流会」を実施してまいります。町内会の運営に携わる皆様にご参加いただき、町内会同士の交流を深め、今年度開催時にいただいたご意見等を踏まえた上で、役員の負担軽減や加入促進など町内会が抱える課題の解決につなげてまいります。

町内会館の整備・維持管理については、ひより台一丁目会館において、東日本大震災の被災による床傾斜等の改修に伴う実施設計が今年度終了したことから、新年度は改修工事を進めることとしており、年度内完成を目指し取り組んでまいります。

また、経年劣化に伴い修繕が必要であることから、あけの平一丁目会館の床修繕工事、東向陽台第一会館の屋根改修工事、成田七丁目会館の屋根・外壁等改修工事を行うとともに、新設工事としてあけの平一丁目会館のスロープ工事に着手してまいります。つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

なお、新築工事を進めておりました明石台第八会館については、昨年12月19日に完成し、会館備品の整備も完了しております。

#### (7) 行財政経営関連施策について

次に、行財政経営関連施策について申し上げます。

本市では、これまで行政改革を全庁的に推進し、健全な行財政運営に努めてまいりました。

令和5年度で終期を迎える、現在の第2次富谷市行政改革については、人材育成や行政サービスの向上を中心に取組を進めてまいりました。新年度以降に

においては、第2次行政改革の方向性を継承しながらも、新たな視点として「行政のDX推進」を加え、財政支出の適正化を軸とした第3次富谷市行政改革基本方針を策定し、令和8年度まで継続的に行政改革を推進してまいります。

本市総合計画及び国土利用計画、地方創生総合戦略、人口ビジョンについては、令和7年度で終期を迎えます。このことから、新年度から2か年の期間において、総合計画ほか各種計画の改定作業を進めてまいります。

次に、市税について申し上げます。

市民の皆様には、日頃より納税に対してご理解を賜り、改めて深く感謝を申し上げます。

引き続き公平公正な課税と自主財源確保のため、収納率の維持向上と収入未済額の縮減に努めてまいります。

なお、現在国が進めている個人住民税の定額減税に関する予算については、適正な金額を算定するための十分な情報が整っていないため、今後、国県や他市町村の動向も注視しながら、適切な時期に予算計上させていただきますのでよろしく願いいたします。

行政のデジタル化の推進については、「富谷市公共施設オンライン予約システム」を導入し、3月1日からスポーツセンターや各公民館等公共施設のオンライン予約を開始いたします。施設の窓口に行かずに、オンラインでの予約が可能となります。今後も、市民サービスの向上を図るため、行政のデジタル化及びDX化の推進に取り組んでまいります。

二年目を迎えた広報戦略プロジェクトについては、職員の広報マインド向上研修会を開催し、市公式SNSフォロワー数の増加に向けた取組を推進してまいりました。新年度もプロジェクトチームを継続し、SNS運用マニュアルを策定するとともに、情報発信の強化に取り組んでまいります。

以上で、令和6年富谷市議会第1回定例会開会にあたり、新年度の施策の大綱を申し上げ、挨拶とさせていただきます。

